

第1回 松原市子ども・子育て会議 要旨録

日 時	平成26年2月24日(月) 13:00～
場 所	松原市役所3階 301会議室
出席者	会 長 渡邊 純 副会長 中西 利恵 委 員 松本 慶二 ・ 吉田 敬司 ・ 菊井 智明 ・ 中山 智恵 ・ 田崎 由佳 ・ 中野 信昭 ・ 芝内 佳世子 ・ 西田 幸子
事務局	松原市 子育て支援課

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委嘱状の交付
4. 委員紹介
5. 議題
 - (1) 会長・副会長の選出
 - (2) 教育委員会事務局の参加について
 - (3) 子ども・子育て支援新制度及び子ども・子育て支援事業計画について
 - (4) 子ども・子育て支援事業計画策定までのスケジュール
 - (5) ニーズ調査結果の報告
 - (6) その他
6. 閉会

(5) ニーズ調査結果の報告
(事務局説明)

委員：調査結果の育児休暇取得状況について、現状があらわれていると思う。事業主として事業所でも育児休業にばらつきもあり、市の手厚い支援があればよいと思う。育休については現状では事業主として、できることとできないことがあるということを理解してほしい。個人的なコメントである。

委員：クロス集計をかけることで、現状やニーズがよりみえてくる。利用している施設とのクロスなど、何を計画書に盛り込んでいくか、また、ニーズを考えるとときに重要だと思う。

事務局：委員の要望のクロス項目ができるかを確認し、集計をかけていく。

会長：実際にどのようなニーズの人が何を望んでいるかということをはっきりしていかなければみえてこないと思う。どのようなサービスを提供することが公的な役割になるのか、また、育児休業をとりやすい制度にしていくのか、難しい現状の中で公的なサービスでカバーしていくのかということだと思う。

委員：保育園を運営しているが、保育園の現状を分かっていたきたい。実際に保育園幼稚園に通っている人に着目してほしい。現実には土曜日も仕事を理由に利用している方がいらっしゃるため、アンケートの数字とかけ離れているのではないかな。

会長：数字ではなくとも、子育てをしている中で実感していることやご意見はないか。

委員：実際に長時間預けることができると助かりますが、仕事の時間を延ばしてしまう。仕事上で子どもがいるから帰りやすいなど、男女の差は関係ない。

委員：小学校にあがっても、低学年の間は終わる時間も早く、学童保育にまで預けて仕事をするのか。学童保育に預けても17時までであり、暗い中を帰っている子どもをみると、子どもにそこまではさせられない。

委員：小児救急について、現実には受け入れが難しく、充実が必要。その反面、どの程度が小児救急として含まれるのかという母親の学びが必要である。
また、希望する保育園に行けない人も待機児童から外れるのか。
学童保育は17時からの延長保育のニーズが少ないのではなく、お迎えが必要という条件から、延長保育を選択できないお母さん達がいる。

事務局：今回は、法の趣旨や概要等の説明とともにこれからについてをお願いをする会だと捉えていただきたい。今後、決めていくべき議題に関しては、事務局でその都度資料を用意するため、またご意見を願います。

会 長：考えていく上でのベースとなるニーズ調査であるため、充分理解していただき、疑問点などのご意見をいただくことはとても重要なことである。

委 員：幼稚園の預かり保育は進んでいるのか。

委 員：17時30分まで預かり保育をしている。さらに来年度から統合する四つ葉幼稚園では、早朝の預かり保育を実施する予定である。

会 長：総括的にご意見をいただきたい。

委 員：アンケートでは、クロスでより鮮明に現状が出てくるため、次回クロス集計を含めて、具体的な議論ができるようにする。